

平成 30 年度第 3 回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時・場 所	平成 31 年 3 月 19 日 (火) 午後 2 時～ 多度地区市民センター 3 階 305 会議室
出 席 者	委員：6 名 事務局：13 名 傍聴者：1 名
議 事 次 第	1. 開会挨拶 (上下水道部長) 2. 議事 (1) 桑名市上下水道事業経営戦略の修正について (2) その他 3. 閉会挨拶
要 旨	<p>1. 開会挨拶 開会后、桑名市長より挨拶</p> <p>2 (1) 桑名市上下水道事業経営戦略の修正について 事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021 年度については、平成 27 年度に策定した経営戦略の料金改定額を検証した結果、修正後の経営戦略においても同程度の料金改定が必要。その 4 年後の 2025 年度については、財源試算上の目標を全て達成するためには、年間 2.4 億円程度の料金改定が必要であると確認するが、具体的な改定額および料金体系については、料金改定の審議を行う際に議論を行う。下水道事業および農業集落排水事業については、計画期間内に料金改定の予定なし。 ・ 今後の段階的な料金改定を見据えて前回の料金改定を行っているが、住民の負担が増えることを踏まえて、早い時期から段階的に費用の削減を行うなど、料金改定額を下げる取り組みを行っていただきたい。 <p>⇒有収率の改善を目標として設定し費用の削減に努めていくとともに、保有する資産の活用（売却・賃貸借）も検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修正後の経営戦略がどの程度の耐久力（物価上昇・有収率の低下・費用の増加）をもっているのか認識したい。 <p>⇒コストの上昇等が費用に跳ね返ることで損益がどのように推移するのか、次回の審議会で提示させていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道法改正に伴うコンセッション方式について、民間事業者の参入に伴う不安が大きい。普段から住民に対して説明を行っていただきたい。 <p>⇒コンセッション方式について、調査・研究を行うのは大切であると認識している。しかし、先進的に取り組んでいた市が延期を決定しており、全国的な動向を注視していく必要がある。また、住民への情報発信の取り組みとして経営審議会を通じての情報公開も大切な要素と捉えている。また、早い段階での情報発信やわかりやすい説明に努めるとともに継続的な事業の見える化に努めていく。さらに、市の水道料金は三重県 14 市の中で低廉な料金設定であることを知っていただく必要もある。</p>

・汚水処理原価が2026年度までは減少するが、その後は増加に転じている要因について。

⇒下水道の加速的な整備に伴い、汚水分の減価償却費（割合）が2026年度以降に増加することで2027年度、2028年度は上昇するが、その後は横ばいとなる見込み。

・下水道普及率および未普及世帯に対しての啓発活動について。

⇒下水道普及率は約75.6%（平成29年度末）であり年間1.5%程度の上昇を目標に約90%に向けて事業を実施している。職員および委託業者と協力し今年度については、約800世帯を訪問し啓発活動を行っている。

・料金徴収方法について工夫を行うなど、住民の負担感を減らすことは重要であり検討していただきたい。

・農業集落排水事業は5地区（多度北・嘉例川・立田太平・古野・美鹿）あり、単独の処理施設で汚水処理を行っているが、下水道への接続替えを行うことで下水道事業および農業集落排水事業の収支計画はどのようになるのか。

⇒下水道事業については、多度北地区および嘉例川地区の編入を仮定し、投資財政計画を試算した結果、現行の使用料収入で経営を持続していくことができる。農業集落排水事業については、下水道への接続替えにより使用料収入は減少するが、不足する額を一般会計からの繰入金などで補てんを行い、均衡を保ちつつ事業を継続していく。

⇒平成30年12月1日からPay B（スマートフォンにアプリを取り込んで納付書に記載されているバーコードを読み取ることで24時間自宅で納付することができる）を導入し市民サービス向上に向けて取り組んでいる。

（2）その他

事務局より、次回の審議会の予定について連絡

3. 閉会挨拶

上下水道部長より挨拶

（以上）